

CONTENTS

① イベント

② コラム

③ ご案内

日本語 ボランティア養成 リモート講座 **入門編**



▲初日は会場にてレクチャー

国際交流センター初の試みである、オンラインによる全6回「日本語ボランティア養成リモート講座」が開催されました。

初日の11月28日以外は全てZOOMでの受講です。事前にスタッフ一同はZOOMの練習を繰り返し、受講者39名の講座はオンラインでスムーズに進行されていました。

今回は入門編。「外国人に日本語を教えたいけど何から始めればいいのか?」という初心者の方が、日本語教室の活動と役割、外国語としての日本語の文法のわかりやすい教え方、日本語学習者に必要な「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションの取り方を学びました。ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、別室でのペア練習やグループワークも盛り込み、また質問や回答をチャットボックスに入力することで、参加している実感がありました。



「はじめはどう学ぶのか不安だったが、コロナを気にせずオンラインの良さを生かした受講が出来とても有益だった」と受講者からは大好評でした。



講師 **有田 玲子**さん

- 東京にほんごネット代表
- インターカルト日本語学校非常勤講師
- ひらがなネット株式会社
日本語教育アドバイザー
- 自治体などが発信する情報のやさしい日本語への翻訳業務、動画作成監修
- 文化庁 日本語学習サイト『つながるひろがる にほんごでのくらし』作成メンバー

やさしい日本語10のポイント

- ① 「～です」「～ます」で話す。
- ② 短く話す。
- ③ ゆっくり話す。
- ④ 最後まではっきり言う。
- ⑤ あいまいな表現を避ける。
- ⑥ オノマトペ(擬音語、擬態語)は使わない。
- ⑦ 敬語を使わない。
- ⑧ 相手のことばをよく聞く。
- ⑨ ジェスチャーを使う。
- ⑩ やさしい気持ちでコミュニケーション。

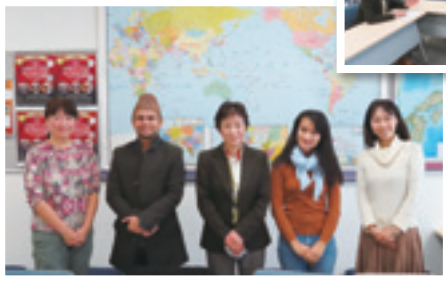
詳しくはこちらの動画をチェック



スピーチ大会実行委員やボランティア養成講座で活躍いただいている鈴木恵さんのお話です。

「さいたま市外国人による日本語スピーチ大会」の実行委員の活動は、今年で5年目になります。外国人出場者の生の声を聞いては笑い、驚き、感心しています。ときには日本や日本人の外国人への対応が充分ではない、あるいは好意的ではないと言う指摘に申し訳ないと心であやまりながら、出場者を応援しています。大会の開催に当たっては皆で協力し入念な準備をしますが、当日はとても緊張します。予定どおりに進むか、参加者や来賓の方に失礼がないかなど、こんな緊張感

▼スピーチ大会司会担当の皆さんと
(鈴木さんは写真中央)



▲外国人司会者との打合せ

は退職後めったに味わえるものではなく老化防止には役立っていると信じています。

また昨年からはボランティア養成講座 ▲フィリピン訪問で子どもたちと一緒にの活動もお手伝いさせていただいています。氷川神社を英語で案内する企画では、ボランティア仲間に神社の歴史や仕組みを教わり自分でも勉強して興味・関心が広がりました。

個人的には、東南アジアの農山村の子どもたちの就学や生活を改善するNPOを支援していて、子どもたちからの手紙や成長記録の翻訳のお手伝いをしています。4年前には支援先の一つフィリピンを訪れ現地の様子を見学する機会を得ました。子どもたちの明るい笑顔が印象的でした。

さまざまな国際交流で人々がつながり笑顔あふれる世界になってほしい、そう思いながら活動していますが、同時に私自身の世界もつながり広がっていると感じています。

※今年のスピーチ大会は、コロナ感染拡大のため中止となりました。



大好き! SAITAMA
さいたま



陳 鉸婷 (CHEN ON TING) さん (香港)



▲来日した頃レストランで

香港出身の留学生、陳鉸婷 (CHEN ON TING) さんにお話を伺いました。

小さい頃から日本のアニメが大好きで、字幕なしで日本語のままアニメを理解したいと思い日本語の勉強を始めました。2019年10月に来日、日本の大学進学を

目指して日本語学校で語学習得に励んでいます。

来日当初驚いたことは、ごみの分別。細かい分別が分からずゴミを出せず、けっこうな量を溜め込んでしまったことも。また感心したのは、市役所で全ての書類が揃うこと。香港では書類を揃えるために何ヶ所も回らないといけないそうで、また申請する際にいちいち氏名や住所を一枚ずつ記入する必要があり、ぜひ日本のシス

テムを導入してほしいと思ったとのこと。

さいたまでの一番の思い出は、さいたまスーパーアリーナでの昨年の成人式。振袖を着て盛大なセレモニーに出席し、「日本は若者をとても大切に思っているなあ。」と感動しました。香港には成人式はなく、歳を取ったと実感する程度なので、二十歳の節目を一大イベントにしていることをとても新鮮に感じました。

将来はイラストか洋服のデザインの職に就きたい陳さん、コロナ禍で学校もオンラインになり、多くなった在宅時間は、勉強のための絵を描いたりお料理をして過ごしています。YouTubeで検索して日本料理もよく作ります。お正月にはお雑煮に挑戦しました。香港でもお餅は食べますが、お雑煮のような料理はないそうで、とても美味しくできたのが嬉しかった様です。

日本は多様性があり、学ぶにも働くにも環境が適しているし、また香港よりもゆっくりで優しい日本人の話し方が好きで自分に合っていると思うので、将来も日本で働きたいと考えている陳さん。今回のインタビューも受験の際の面接の練習にもなるので丁寧な日本語で教えてくださいました。

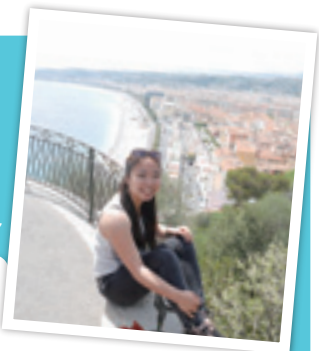


▲スーパーアリーナでの成人式

フランス留学体験談



すがわら ゆうき
菅原 夕稀さん



旅先のニースにて

2015年~2016年までの1年間フランス トールーズに留学をしました。留学の動機は、単純ですが南フランスで生活したいという思いからです。できるだけ現地の生活をしようと、マルシェに通い、日焼けを気にせず太陽を満喫し、ホームパーティーで夜遅くまで会話を楽しんだりしました。

旅行する時は、家の1部屋を借りるタイプの宿を選び、様々な暮らしを見ました。どの家庭でも共通していたのは、小さいものでもその人の魅力やセンスが生かされていて、自分の好きな空間を作り上げ、日常を最大限に充実させて

いました。これは私も実践しよう
と今でもよく参考にしています。

噂には聞いていましたが、本当にフランスでは様々なことがスムーズに進みませんでした(笑)。健康保険の事務所に書類を紛失されたり、長距離バスの当日、真冬に数時間待たされたこともありました。その時は大変でしたが、自分の意図を明確に伝える力や辛抱強さも培ったので最終的には良い経験になっています。帰国してから、日本のような便利すぎる社会に慣れてしまう自分の方が、うまくいかない時

すぐに不満を感じてしまうことに気づきました。多少うまくまわらないくらい、心に余裕が持てて丁度いいのかも知れません。



高校時代から仲の良いリヨン在住の友人と



毎週通ったマルシェにて



事業スタッフと事業運営チーム事業

国際交流センター

事務局※1

運営委員会

*国際交流センター全体の事業運営に伴う諸課題についての最終決定機関

事業運営チーム※2

*各事業運営の意思決定機関

各事業委員・事業スタッフ

当センター(IEC)は、多文化共生社会の実現を目指し、地域社会の発展と国際化に資することを目的に、市民ボランティアとIEC事務局により様々な事業が実施されています。

単なる事業の参加ではなく、市民が事業スタッフとして所属することで、個々の意見や企画が、事業および協会運営に大きく反映され、市民主体による国際交流・支援/協力活動を展開しております。

■事業運営チーム事業(※2)

A 簡易生活相談事業 / B ミニ講座、パネル展示事業 / C おしゃべりサロン事業(日本語・英語・中国語・韓国語・スペイン語・ロシア語) / D 日本語国際センター交流会事業 / E はじめましての会事業 / F 着物着付け体験会事業 / G ホームビジット、ホストファミリー体験会事業 / H 海外姉妹・友好都市交流事業(市民訪問団派遣・受入、スポーツ少年団派遣・受入) / I 日本語支援事業(にほんごのへや) / J 日本語ボランティア養成講座事業 / K 多言語情報誌「ぶらら」発行业 / L 子育て支援事業 / M 語学講座開催事業 / N ユース国際ボランティア事業 / O ボランティア養成講座事業(通訳・翻訳、イベントボランティアを中心に防災事業等各種講座の開催) / P 広報事業(IEC News・ぶらっとサロン予定表の編集、発行)

■実行委員会事業

(国際友好フェア、国際ふれあいフェア、次世代育成セミナー、外国人による日本語スピーチ大会)

■国際協力事業

■コmnナレ連携事業

国際交流センター事務局(※1)

- 事業(全般)の支援
- 実行委員会事務
- 登録ボランティアの募集
- ボランティア派遣
- 筆耕翻訳
- 協会の広報活動全般(マスコミ対応含む)
- 多言語生活相談
- 市民訪問団派遣
- スポーツ少年団派遣および受入
- 国際協力事業
- 国際交流センター管理など

Myレシピ ③

～アルゼンチン編～



アルゼンチン出身のアドリアナ ゴンザレス (Adriana Gonzalez) さんに、日本人にはおなじみの餃子に似た料理を紹介していただきました。



エンパナダ

材料(約20個分)

- 牛ひき肉300g、玉ねぎ1個、塩小さじ1、胡椒少々、オレガノ小さじ1、クミン小さじ1、パプリカパウダー小さじ1、サラダ油小さじ1、ゆで卵2個、種無しオリーブ6個
- 生地材料:小麦粉強力粉500g、ぬるま湯食塩水100cc(塩大さじ1)、サラダ油大さじ2

作り方

- 生地 ①ボールに小麦粉と食塩水、サラダ油を入れて、指につかない程度の硬さでこねる。直径15cmくらいの生地を複数つくる。
- 具材 ①フライパンにサラダ油をひいて、玉ねぎのみじん切りを軽く炒めて、牛ひき肉をいれてさらに炒める。
- ②塩・胡椒・オレガノ・クミン・パプリカを加えて炒める。
- ③きざんだゆで卵とオリーブをくわえる。
- ④熱がさめるのを待ってから、生地に乘せて包む。
- オープン200度で30分くらい焦げ目がつく程度焼く、または180度の油であげる。

おしゃべりサロン 参加者の皆様へ



おしゃべりサロンにお越しの際は、
以下のことに留意いただき参加をお願いします。

- 体調が少しでもすぐれないと思われる方は、参加をご遠慮ください。(喉の痛み、咳、発熱、倦怠感、腹痛等)
- 事前にご自宅検温
- 筆記用具の持参
- マスクの着用
- こまめに手指の消毒
- 参加記録確認書の記入(参加ごと、毎回)
- 使用された椅子、机等を個々に消毒していただきますようお願いいたします。



4月以降のスケジュールは
HPをご覧ください。

詳細はこちら▶



新型コロナウイルスの影響で予定が変更することがございます。



サロンちゃん

さいたま市内にある 日本語ボランティア教室の紹介



ぶらっと君

- いわつき国際交流会日本語プラザ ●いわつき水曜日本語教室
- 浦和日本語ボランティアグループ「くすのき」 ●NBCにほんごクラス ●外国人のための日本語教室
- 日本語で話す会 ●さくら北浦和 ●日本語ボランティアグループ「さくら」
- にほんごのへや浦和コース ●にほんごのへや大宮コース ●さいたま日本語の会 ●地球ひろば
- 地球村 ●地球っ子クラブ2000 ●日本語ボランティアクラブ「つちあい」 ●日本語教室「たんぼぼ」
- 七里日本語勉強会

※詳しい情報は、右記QRコード又は、国際交流センターHP/国際交流/外国人支援/多言語生活情報誌「ぶらら」No.71
「さいたま市内にある日本語ボランティア教室」をご覧ください。



▲詳細はこちら



公益社団法人 さいたま観光国際協会 国際交流センター

Saitama Tourism and International Relations Bureau (STIB)
International Exchange Center (IEC)

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9F (JR浦和駅東口 浦和パルコ上)

TEL 048-813-8500 FAX 048-887-1505

E-mail iec@stib.jp URL https://www.stib.jp/kokusai

